

報告

「ホノルルマラソンを目指そうランニング教室、 そしてホノルルマラソンに参加して」

池川 映美



大津市広報で知り、主人が教室の2期に参加の後、3期に私が61歳で参加。その時はマラソンというものに接した事も、興味もなく、ただどの様なものなのかなという気持ちだけでした。その教室の期間に、右足が型状筋症候群になり講座を休んだりしましたが、10キロメートルをレースペースで走るというのを、生まれて初めて経験し、学生さんのサポートもあり走り終えることが出来ました。この事が「私でも走れるんだ」という自信に繋がりました。その年にはホノルルマラソンには参加せず、私・娘・孫の三世代でホノルルレースウォークに参加しました。

2011年、4期生として再度教室に参加し、「ホノルルマラソンに教室から参加します。」と宣言してしまったのです。もう後には引けません。いつもは主人と一緒にツアーで行くのですが、今回は絶対に走りたいと思い、主人と出発日もホテルも違っていました。6月に古城マラソン10キロ、10月にタートルマラソン10キロに参加しました。その頃までは調子が良かったのですが、10月末くらいから、膝が痛くなり、走れない、トレーニングも出来ず、ほかのマラソンもキャンセル、どうしようという思いでした。ホノルルに立つ4日前には左膝裏にベカカ腫という事で、水を抜いてもらい、それでなんとか歩けるようになり、10キロくらいなら歩けるかなと心細い気持ちだったのです。その時に、マラソンの素晴らしい仲間の励ましの言葉に「そうだ、もう最初から歩こう」と思い、「20キロ歩けたら最高」と思いホノルルに出発。ホノルルに着いてもトレーニングはほんの少力で、ショッピング歩きのみで（これが結構足に良い

トレーニングになった気がします。), 当日、とにかくリュックにジェル4つ、バナナ1つ、コールドスプレー、カメラ、携帯、湿布、ポンチョ、仮装用ハットを入れ、山歩きのように歩き始めました。声を出し、アロハ・グッドモーニング・グッジョブ等ピースで写真を撮ってもらいながらどんどん歩き、周りの人たちも楽しく歩いていました。途中、もう先生たちは折り返してきています。私はまだまだです。雨が降り風が吹き、少し悲しくなりましたが、大丈夫、大丈夫と思いながら、負けないぞと歌を歌いながら30キロでお尻と太ももが痛くなり、こんな時役立つなど湿布を張り歩き出すと、四国コナミ団体の1人と仲良しになり、おしゃべりしながら、楽しく2人で手を取りゴール。なんとその時、時計は9時間を過ぎていました。主人がゴールに迎えに来てくれていて、2時間以上待ったと言いながらゴールした私に感激していました。私はケロツとしていましたが...

ああ完走はできなかったけど、完歩は出来たと心は晴れ晴れでした。(教室の趣旨とは違うかな)きっと主人と2人で来ていたマラソンなら10キロウォークに変更していました。

びわこ成蹊スポーツ大学の藤松先生をはじめ、多くの先生方、サポートの学生さん、事務局の方々、マラソンの仲間がいて下さったから、マラソン大会に参加出来、ゴール出来たと思います。記録は8時間48分でした。来年はちょっとは走ります。ホノルルマラソン大会は、楽しいです。素晴らしい教室、素晴らしい仲間に出会えて最高です。ありがとう。